【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成19年5月17日(2007.5.17)

【公開番号】特開2005-335600(P2005-335600A)
【公開日】平成17年12月8日(2005.12.8)
【年通号数】公開・登録公報2005-048
【出願番号】特願2004-158759(P2004-158759)
【国際特許分類】
Ｂ６０Ｒ　11/02　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　 1/00　(2006.01)
Ｂ６０Ｒ　21/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６０Ｒ　11/02　Ｃ
Ｂ６０Ｒ　 1/00　Ａ
Ｂ６０Ｒ　21/00　６２１Ｃ
Ｂ６０Ｒ　21/00　６２１Ｎ
Ｂ６０Ｒ　21/00　６２６Ｇ

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月27日(2007.3.27)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
車両の後部座席者用に設置されたリアモニタであって、
前記車両の外部後方を撮影可能に設置されたカメラの映像を表示可能な表示部を備え、且つ、前記車両の運転者が前記車両後方側を向いたときに前記カメラの映像を視認できるように構成されたことを特徴とするリアモニタ。
【請求項２】
前記後部座席者が前方を向いて視認できる位置であり、かつ前記運転者が前方を向いて視認できない位置に設置され、前記カメラの映像を前記運転者が視認できるように、前記表示部を回動する回動機構を備えることを特徴とする請求項１に記載のリアモニタ。
【請求項３】
前記運転者が視認できる側及び前記後部座席者が視認できる側それぞれに前記表示部を有し、前記運転者が視認できる側の表示部が前記カメラの映像を表示することを特徴とする請求項１に記載のリアモニタ。
【請求項４】
前記車両が後進するように設定されたことに応じて、前記表示部が前記カメラの映像を表示することを特徴とする請求項１～３のいずれか１項に記載のリアモニタ。
【請求項５】
前記車両が後進するように設定されたことに応じて、前記表示部が前記カメラの映像を表示し且つ前記カメラの映像を運転者が視認できるように前記回動機構が前記表示部を自動的に回動することを特徴とする請求項２に記載のリアモニタ。
【請求項６】
少なくとも運転席よりも車両後方寄りに位置し、リアモニタの表示部が前記運転席側から視認できるように前記リアモニタを回動する回動機構を備えるリアモニタの取り付け装置

。
【請求項７】
前記車両が後進するよう設定されたことに応じて、前記リアモニタの表示部が前記運転席側から視認できるように、前記回動機構が前記リアモニタを自動的に回動することを特徴とする請求項６に記載のリアモニタの取り付け装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
請求項１に記載のリアモニタは、車両の後部座席者用に設置されたリアモニタであって、車両の外部後方を撮影可能に設置されたカメラの映像を表示可能な表示部を備え、且つ、車両の運転者が車両後方側を向いたときに前記カメラの映像を視認できるように構成されたことを特徴とする。